

天王寺動物園にマレーシアからマレーシアゾウがやってきました

天王寺動物園では、令和8年3月11日（水曜日）にマレーシアゾウ3頭を迎えました。

このマレーシアゾウは、令和4年5月19日と10月6日にマレーシアの Zoo Taiping & Night Safari と結んだ「マレーシアゾウ保護プログラム」に基づき、オス1頭とメス2頭が入園したものです。これらの個体は検疫期間を経てお披露目する予定です。

平成30年1月25日に「ラニー博子」が死亡して以降、ゾウのいない状態が続いていましたが、8年ぶりにご覧いただけることとなります。

また、今回のゾウの導入にあたり、象印マホービン(株)さまより「輸送費の一部」を、(株)クボタさまより「体重計」をご協力いただくとともに、その他にも複数の企業さまからご協力をいただきました。

〔入園したマレーシアゾウのプロフィール〕 ※年齢は全て推定。

名称：KELAT<クラッ>（オス）

保護年月日：2011年1月8日、保護時年齢：5歳、現在年齢：20歳

体長：360cm、体高：250cm、体重：2,560kg、キバ：95cm



<画像ダウンロードはこちら>



(2025.4.16 撮影)

名称：DARA<ダラ>（メス）

保護年月日：2012年10月15日、保護時年齢：1歳、現在年齢：14歳

体長：335cm、体高：230cm、体重：2,165kg



<画像ダウンロードはこちら>

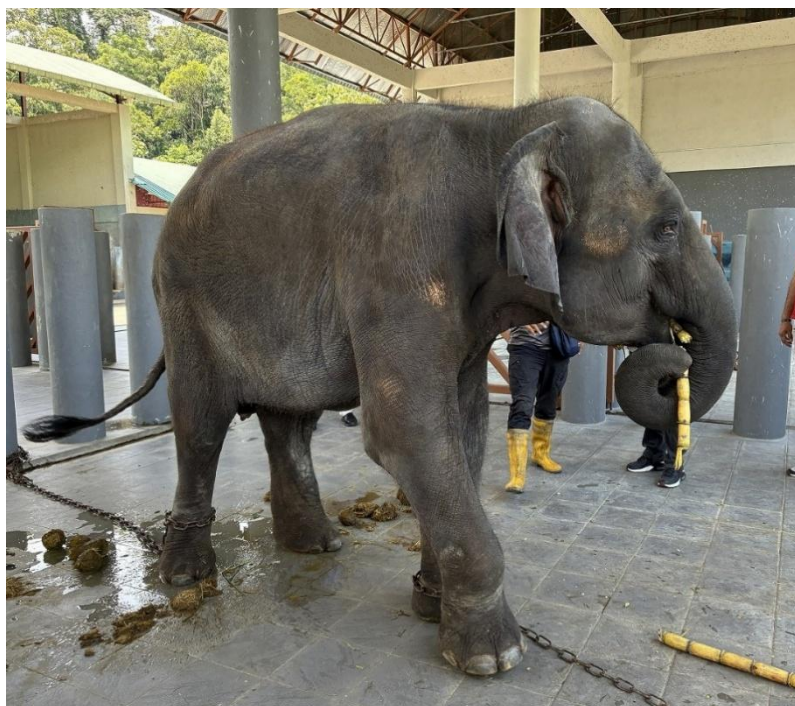


(2025.4.16 撮影)

名称：AMOI<アモイ>（メス）

保護年月日：2018年8月1日、保護時年齢：2歳、現在年齢：9歳

体長：310cm、体高：183cm、体重：1,280kg



<画像ダウンロードはこちら>



(2025.4.16 撮影)

〔天王寺動物園でのゾウの飼育履歴〕 ※戦後に限る。

春子：1950年4月～2014年7月

ユリ子：1950年6月～2000年5月

ラニー博子：1970年5月～2018年1月

〔参考〕 アジアゾウについて

分類：長鼻目ゾウ科

種名：アジアゾウ、Asian elephant、*Elephas maximus*

分布：南～東南アジア（スリランカ、インド、ネパール、ブータン、バングラディシュ、ミャンマー、タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム、インドネシア、マレーシア）および中国に約48,000～52,000頭が生息しており、そのうちマレーシア半島には1,200～1,700頭が生息している。

形態：体重 3～6t、体高 2～4m、頭胴長 5～6m、尾長 1.5m 程度

ワシントン条約附属書 I に該当。

国内では31園館で84頭が飼育されている。（2024年12月31日現在）

飼育下寿命：約50～70年

〔個体画像のダウンロード URL〕

KELAT（オス）：<https://www.tennojizoo.jp/wp-content/uploads/2026/02/KELAT.jpg>

DARA（メス）：<https://www.tennojizoo.jp/wp-content/uploads/2026/02/DARA.jpg>

AMOI（メス）：<https://www.tennojizoo.jp/wp-content/uploads/2026/02/AMOI.jpg>

【天王寺動物園の概要】

- 所在地及びアクセス 〒543-0063 大阪市天王寺区茶白山町1-108
各線「天王寺駅」「動物園前駅」「恵美須町駅」「新今宮駅」から徒歩約5分から10分
- 開園時間 9時30分から17時（入園は16時まで） 5・9月の土・日・祝は18時まで（入園は17時まで）
注）休園日については[ホームページ](#)をご確認ください。
- 入園料 大人500円、小中学生200円
注）障がい者手帳をお持ちの方、大阪市内在住・在学の小中学生、大阪市内在住で65歳以上の方は無料（公的証明書の提示、またはミライロIDの登録画面の提示が必要です）